

IANA 監督機能移管後の ICANN の責任

Steve Crocker、2014 年 5 月 6 日

NTIA が IANA 機能の監督を移管する意向を表明して以来、ICANN コミュニティ、ICANN 理事会、ICANN 指導部の間では、ICANN の全体的な責任に関するプロセスが必要であるという合意が形成されてきました。このプロセスは、ICANN がこれまで米国政府と契約上の関係を持ってこなかったことに対処し、より幅広い責任メカニズムを強化すべきかどうか、どのように強化すべきかについて、組織的な観点から考察するものでなければなりません。

最近ブラジルのサンパウロで開催された NETmundial 会議において、ICANN 事務総長兼 CEO、Fadi Chehadé は、ICANN がそのようなプロセスを開始することを発表しました。このプロセスはコミュニティ主導であり、オープンな議論とコミュニティからのフィードバックを通じて詳細が決定されます。

このプロセスの構築は、それを IANA 監督機能自体の移管に関して最近開始された他の [プロセス](#) とどのように関連させるかということを含め、理事会と私にとって最優先の事項です。Chehadé 事務総長兼 CEO がサンパウロで述べられたように、これら 2 つのプロセスは相互に密接に関連しており、平行して進められます。これらのプロセスの取り扱いについては、綿密な調査が行われます。

ICANN の責任の強化は、IANA 監督機能移管プロセスの成功のカギとなります。IANA 機能の管理者として、私たちはグローバルなコミュニティに対する説明責任を果たさなければなりません。

このプロセスでは、「Affirmation of Commitments (責務の確認)」など、既存の責任メカニズムを総ざらいし、新しいメカニズムの必要性を探求するに当たって、それらを強化すべきか、どのように強化すべきかについて検討します。より一般的には、ICANN がこれまで米国政府と契約上の関係を持ってこなかったことを踏まえ、どのような新しい強化された責任メカニズムが必要となるか検討します。

しかし、2 つのプロセスがたどるべき道はそれぞれ異なります。すべての人に開かれたプロセスではあるものの、責任プロセスは主に ICANN コミュニティ内で進められるのに対し、IANA 監督機能移管プロセスは複数のフォーラムを通じて進められます。また、後者における ICANN の役割は、招集者および進行役としての役割に限定されます。

インターネット ガバナンス エコシステムの発展に関する議論に大きく弾みがついた今、これらの策定は重大な局面を迎えています。より重要なのは、グローバルなマルチステークホルダー コミュニティが、具体的な成果を上げるために包括的、協調的な意思決定プロセスに積極的に関与する意思を表明していることです。

提案されている ICANN 責任プロセスおよび関連する多数の質問について、コミュニティの皆さんからのコメントをお待ちしています。

責任プロセスに関する発表の全文は[ここ](#)でご覧になれます。

コメント募集期間は既に[開始](#)しており、コメントの提出期限は 2014 年 5 月 27 日 (23:59 UTC) となっています。